

家庭用給湯機の技術開発の変遷

住宅電化分野

研究所設立当時の昭和40年頃は、家庭電化の進展により電力需要の伸びが著しく、需要造成に加えて負荷平準化策を展開してきた。住宅分野では昭和60年ごろから、負荷平準化に寄与する深夜電力を利用した家庭用給湯機の開発を進めてきた。平成12年には深夜電気温水器に替わる高効率な電気給湯機（エコキュート）を開発した。

年 月	技術開発の変遷
昭和61年5月	省スペース型湯量制御方式深夜電気温水器
昭和63年2月	横型電気温水器
昭和63年10月	深夜電気温水器内蔵型シャワーユニット
平成元年1月	薄型電気温水器
平成5年	上部昇温式電気温水器
平成8年5月	深夜電力対応型24時間風呂
平成9年11月	次世代型コンパクト電気温水器
平成10年1月	沸増型電気温水器「わくわくホット」
平成12年7月	追い焚き機能付フルオートタイプ電気温水器
平成12年9月	自然冷媒を用いた家庭用給湯機「エコキュート」
平成15年8月	浴室の暖房・乾燥機能付電気温水器「温め上手」
平成16年10月	高出力一体型エコキュート
平成16年11月	床暖房・浴室暖房乾燥機・追い焚き機能型エコキュート
平成17年1月	薄型パワフルオートタイプ電気温水器
平成17年4月	高出力寒冷地対応CO ₂ 冷媒ヒートポンプユニット
平成19年4月	エコキュート用組立基礎「エコベース」
平成20年3月	水道直圧給湯方式エコキュート「ナイアガラ」



以上